

とどめ得ぬもの 墨のいろ 心のかたち

Toko Shinoda

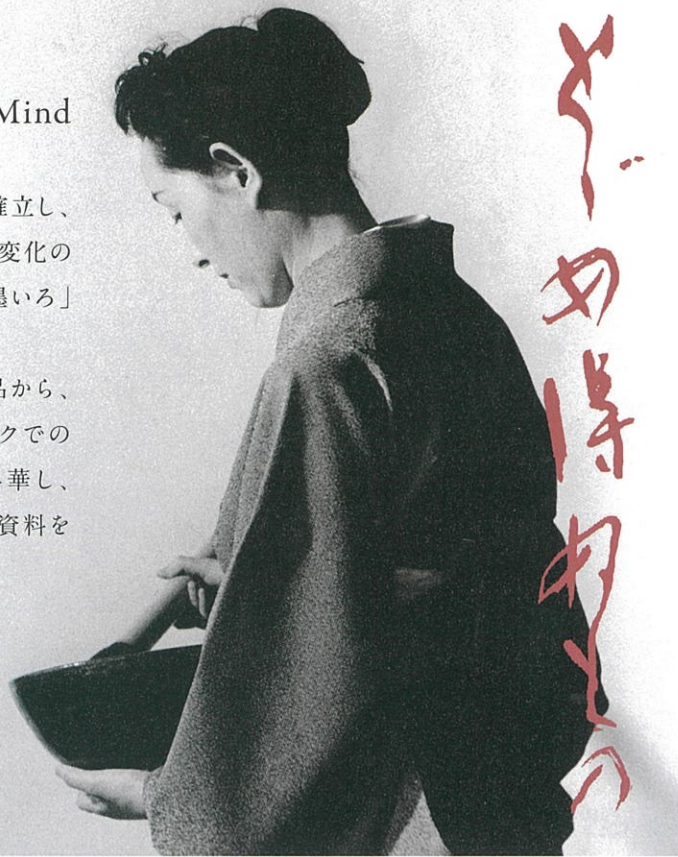
Things Transient -

Colors of Sumi, Forms of the Mind

篠田桃紅

篠田桃紅は、文字の形にとらわれない水墨抽象画という独自のスタイルを確立し、現在まで常に新しい表現に挑戦し続けてきました。桃紅は、自然や時代の変化の中に漂うつろう、「とどめ得ぬもの」に寄り添い、そこに見出した一筋の「墨いろ」の線は、無限の広がりを感じさせるリズムを奏でます。

本展覧会では、桃紅が日本の古典文学と書法を学び出発した初期の作品から、文字を離れて墨の色や線を追求し、独自の抽象表現を確立したニューヨークでの挑戦とその後、そして、余分なものを極限まで削ぎ落として新たな形に昇華し、一瞬の「心のかたち」を追求し続ける現在までの変遷を、約60点の作品と資料を通して辿ります。



1. 《時間》 1958年
 2. 《行人》 1965年*
 3. 《百》 2012年
 4. 《風の影》 1994年*
 5. 《萩原朔太郎 詩》 1950-54年
 6. 《いろは》 1960-65年
 7. 《「越くら山」百人一首カルタ》 2011年
- *印は公益財団法人岐阜現代美術財団蔵、他は鍋屋バイテック会社蔵

プロフィール

篠田桃紅 しのだとうこう

1913年中国・大連で生まれ、翌年日本に移る。5歳の頃から、父に書の手ほどきを受けて墨と筆に触れ、以後独学で書を極める。第二次世界大戦後、文字を解体し、墨で抽象を描き始める。1956年単身渡米、ニューヨークを拠点に、ボストン、シカゴ、パリなどで個展を開催し、欧米のアートシーンを牽引してきた。壁画やレリーフといった建築に関わる仕事や、東京・増上寺大本堂の襖絵などの大作制作の一方で、リトグラフや装丁、題字、随筆ほか、活動は多岐にわたっている。

関連行事

● 講演会「篠田桃紅-墨のいろと心のかたち」

講師：宮崎香里氏(公益財団法人岐阜現代美術財団 岐阜現代美術館 シニア・キュレーター)
日時：3月7日(土) 午後2時から(開場1時30分)
会場：映像ホール ※申込不要、聴講無料

● ミュージアムコンサート2019「和みの響」

出演：新井紗央理氏(ヴァイオリン)、井上貴信氏(チェロ)、小西史結氏(パーカッション・久乗編鐘)
日時：2月15日(土) 午後2時から
会場：エントランスホール ※申込不要、入場無料

● 映像上映「私の前に道はなかった～篠田桃紅 105歳の軌跡～」

会期中、展示室内ホワイエにて、いつでもご覧いただけます。(テレビ信州制作・上映時間約25分)
※展覧会観覧券が必要です。

観覧料 一般700(550)円 大学生350(270)円 前売一般550円

※()内は20人以上の団体料金です。※この料金で常設展も観覧できます。
※小・中・高校等の児童・生徒及びこれらに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方は観覧無料です。
【前売券取扱所】富山県水墨美術館、富山県美術館、アーツナビ(富山県民会館、富山県教育文化会館、富山県高岡文化ホール、新川文化ホール)
※前売券の発売は2月6日(木)までです。
会期中の休館日 月曜日(ただし2/24は開館)、2/12(水)、2/25(火)
会場 富山県水墨美術館 展示室1・2
開館時間 午前9:30～午後6:00 入室は午後5:30まで
常設展示 近代水墨画の承襲/下保昭作品室
館内施設 茶室「墨光庵」(立礼席、薄茶とお菓子) カフェ「北斗」
ミュージアムショップ「風花」 ※展示室以外はフリースペース(入場無料)です。

交通のご案内
●富山駅南口から[市内電車]大学前行「富山トヨベツ本社前(五福末広町)」下車、徒歩約10分 [ぐるっとBUS]②乗場から北西周回ルート「水墨美術館」下車すぐ [地鉄バス]③乗場から小杉・高岡方面行「五福末広町」下車、徒歩約10分
⑦乗場から四方・呉羽山老人センター・石坂・北代循環行「畑中」下車、徒歩約10分 [タクシー]約10分
●富山空港から [タクシー]約25分 ●北陸自動車道富山IC・富山西ICから [自動車]約20分
●駐車場：乗用車165台、バス7台 ※ご利用は無料です。

次回予告 発見! 画人たちと富山 墨の作品から 4月3日(金)～5月10日(日)



富山県水墨美術館

水墨美術館 検索

〒930-0887 富山市五福 777
TEL(076)431-3719 FAX(076)431-3720
<http://www.pref.toyama.jp/branches/3044/3044.htm>